

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名		武雄市立山内東小学校											
1 前年度 評価結果の概要		・ほとんどの項目において成果指標を上回る評価であったが、「運動習慣の改善や定着化」では、やや下回る評価であったので、次年度に重点的に取り組みたい。 ・「心の教育」には重きを置いて取り組んだので、中間評価に比べ最終評価では向上が見られた。 ・次年度に向けて、本年度の3つの重点目標をさらに達成できるように、具体策を示し取り組みたい。											
2 学校教育目標		ひとりひとりが かがやく ころろやさしい 山東っ子 ～地域と共にある学校づくりを通して～											
3 本年度の重点目標		①わかりやすい授業、確かな学力のつく授業を展開できるように、日々授業改善を行う。 ②しつけ三原則（挨拶、返事、はきもの揃え）の指導に力を入れ、いじめ防止に努め、思いやりの心を育て、心の教育の充実を目指す。 ③たくましい心と体をつくるために、体力向上と食育に努め、活気のある元気な児童を育成する。											
4 重点取組内容・成果指標				中間評価			5 最終評価			主な担当者			
(1)共通評価項目													
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価					
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言				
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○教師アンケートで「『授業づくり1・2・3 vol.1 & 2』とDXを意識した授業実践を行った」の割合を80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」に即した授業を行うとともに、DXを意識してタブレットを活用した児童相互の考えを交流させる授業実践を行う。		・		・		・	・学力向上CD ・学習部			
	○全職員による学習規律の徹底	○教師アンケートで「『山東っ子の学習習慣』を守り、学習規律の指導ができた」の割合を80%以上 ○児童アンケートで「宿題をしている」の割合を90%以上	・定期的に『山東っ子の学習習慣』が身についているか振り返りの時間を設け、繰り返し指導する。 ・学級通信で発信をし、家庭との連携を図る。							・学力向上CD ・学習部			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○教師アンケートで「学級のよりよい人間関係づくりを意識した工夫ができた」の割合を80%以上 ○児童アンケートで「挨拶、返事、はきもの揃えができた」と回答する割合を80%以上	・朝の時間の「ハートタイム」「学級タイム」、道徳の授業等で、SSTやSGEを活用し、友達とのよりよい関係づくりを行う。 ・「挨拶、返事、はきもの揃え」を目標に、全職員で褒めたり声をかけたりする。 ・たてわり活動や人権集会を通して、思いやりの心が育つような活動内容の工夫をする。		・		・		・	・特活部 ・人権同和教育担当			
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○児童アンケートで「相手がいやがることをしない、いわない」の割合を80%以上 ○いじめ防止（いじめの防止のための取組、事案対応等）について「組織的対応ができています」と回答する教員の割合を80%以上 ○児童アンケートで「学校が楽しい」と回答する割合を80%以上	・生活アンケートを行い、いじめや生徒指導上の問題の早期発見、早期対応に努める。いじめを覚知した場合は、すぐに校長をトップとしいじめ対策委員会を開き、組織で対応策を考え、児童に寄り添った対応を図る。 ・教育相談を充実させ、「学校が楽しくない」と答える児童がいた場合は、しっかり寄り添い、少しでも楽しく感じられるよう指導の充実改善を図る。		・		・		・	・生活部 ・教育相談担当 ・教頭			
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ○児童アンケートで「行事にはめあてをもって取り組むことができた」と回答する割合を80%以上	・児童に対して「褒めて伸ばす」姿勢で臨み、児童のよきを見つけて言葉等で表現して伝える。 ・学校行事では、事前に子ども一人ひとりに目標を持たせ、達成できるように指導し、振り返りの時間を設定する。		・		・		・	・全職員 ・特活部			
	◎地域との連携による郷土愛の育成	○「『ふるさと山内』について学習することは好き」と回答する割合を80%以上	・地域の人・もの・ことを活用した体験活動を含めた単元学習を仕組み、各学年で1回以上実施する。		・		・		・	・全職員 ・特活部 ・「総合的な学習の時間」主任 ・生活科主任			
	●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上 ○児童・保護者アンケートで「毎日朝ご飯を食べている」の割合を90%以上	・全学級で「スポーツチャレンジ」に1種目以上取り組む。 ・「スポーツチャレンジ」旬間を設け、結果を定期的に公表し、掲示する。 ・生活状況調査や食に関する意識調査などを実施し、指導に生かす。 ・保健便りやアンケートを通して、朝食をとることの大切さの理解と啓発を行う。		・		・		・	・保体部 ・体育主任 ・保体部 ・栄養教諭		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 ○教師アンケートで「校時の見直しにより、教材研究や児童と向き合う時間の確保につながった」の割合を80%以上	・「校時」の見直しにより、教材研究や児童と向き合う時間の確保につなげる。 ・教育DXを意識して、業務の効率化を図る。 ・定時退勤日（金曜）を設定し、メリハリのある勤務形態とする。 ・年次休暇を取得しやすいような長期休業の計画を立てる。				・		・	・教頭 ・指導教諭			
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上と一人一人の児童のニーズに応える教育の推進	○特別支援に関する専門性が向上した教員を80%以上にする。	・「配慮の必要な子」に関する情報交換の場を週1回設け、共通理解を図る。 ・ケース会議や職員研修の場を設け、合理的配慮に基づいた指導・インクルーシブ教育の視点に立った環境を整える。		・		・		・	・特別支援教育CD ・教育相談担当			
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目													
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言				
○安全教育・防災教育の充実	○安全に関する資質・能力の育成	○安全教育・防災教育を推進し、教師・児童のアンケートで「安全、防災に対する意識が高まった」と回答する児童80%以上 ○児童アンケートで「安全に気を付けて、もう下は右側を歩くことができた」の割合を80%以上	・避難訓練や交通安全などを通して、安全教育や防災教育について意識を高める。 ・下校指導や全校朝会で、安全に関する生活指導を繰り返す行う。		・		・		・	・生活部			
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育													
5 総合評価・次年度への展望		・ ・ ・											